

日本原子力発電所株式会社  
取締役社長 濱田 康男 殿

2011年11月29日

日本共産党

国会議員団近畿ブロック事務所

京都府委員会

大阪府委員会

兵庫県委員会

滋賀県委員会

奈良県委員会

和歌山県委員会

福井県委員会

## 世界一の集中立地点・福井県の原発群からの撤退、原子力発電所の安全対策の抜本的強化を求める要望書

東京電力福島第一原子力発電所事故は、原発事故の危険、現在の原発技術が本質的に未完成で危険であることを明らかにした。中でも福井県若狭湾沿岸の原発群には特別の危険があり、住民の不安と安全への願いは切実である。

福井県には貴社の2基を含め、日本の原発の4分の1、15基(うち商業用13基)が立地し、処理技術の目途がない使用済み核燃料は9000体以上が保管されている、世界一の集中立地点である。福井原発群の事故・故障は、法律・通達の対象となる主なものだけで440件(原子力安全基盤機構まとめ)に及び、過半数の8基が運転開始後30年以上、うち2基は40年以上の危険な老朽原発である。高速増殖炉「もんじゅ」をはじめ、危険な核燃料サイクル計画の実験場にもされている。

日本列島のどこにも、大地震と大津波の危険のない「安全な土地」と呼べる場所は存在しないが、若狭湾沿岸は「活断層の巣」であり、3基が活断層から1キロ以内にある。地震専門家から「浜岡原発に次いで危険」(石橋克彦神戸大名名誉教授、5月23日参院行政監視委の参考人質疑)と指摘されている。世界中にこのような所はない。さらに天正大地震(1586年)により若狭湾沿岸で津波による被害があったことが歴史文献に記録されている。

京都、大阪などの大都市は100キロ圏内にあり、近畿1400万人の「命の水源」琵琶湖からは30<sup>キロ</sup>、琵琶湖集水域の福井・滋賀県境からは13<sup>キロ</sup>しかない。重大事故が起これば被害の甚大さははかり知れず、福井原発で重大事故は絶対に起こしてはならない。

以上から近畿各府県、福井県の住民の命と安全を守るため、福井原発のすみやかな撤退と原子力防災の抜本的な強化、原発に依存したエネルギー政策の転換を求め、下記の諸点を要望する。

### 記

#### 一、原発の再稼働反対、すみやかな撤退、原発縮小を求める

##### (1) 敦賀原発の再稼働は行わないこと

野田首相は、福島原発事故の原因究明が「すべてのスタートの大前提」とわが党の志位和夫委員長に答弁した(9月27日、衆院予算委)。「事故原因の究明なし」、「まともな規制機関なし」の再稼働など論外である。特に敦賀原発1号機、2号機は「世界で活断層から1キロメートル以内に原

発があるのはもんじゅ、敦賀、美浜の三つだけ」(寺坂信昭原子力安全・保安院長)と指摘され、滋賀県の住民から「約200メートル先には活断層があり、2号機の下にはその分岐断層が走っている」と再稼働差し止めの仮処分申請が大津地裁に出されている。敦賀原発1号機、2号機の再稼働は行わないこと。

## (2)特に危険な原発は停止・廃止せよ

### ①敦賀原発の40年以上運転は行わず廃炉に

日本最初の軽水炉である敦賀原発1号機は、営業運転開始から41年もたつ日本で一番古い原発であるうえ、活断層上にある危険この上ない原発である。また炉心溶融を起こした福島第一原発1号機と同型でもある。利益第一で老朽原発を酷使する危険な40年以上運転は行わず、危険な敦賀原発1号機は廃炉にすること。

### ②若狭湾の断層の再評価を実施すること

地震研究が進んで全国の原発立地地域で新たな活断層が次つぎ見つかかり、敦賀原発では真下に伸びる断層が活断層の影響で動く可能性があることが分かった。貴社においても若狭湾の原発周辺の断層評価を再検討されたい。

## (3)敦賀3, 4号機の新増設は行わないこと

敦賀3, 4号機の増設予定地の真下には活断層があり、出力も153.8万キロワットと巨大である。増設計画を撤回すること。

## (4)「事故時運転操作手順書」を公開し、専門家による検証を行うこと

福島第1原発の「事故時運転操作手順書」の一部が公開されたが、東京電力は長時間の全電源喪失を想定していなかったことが明らかになった。貴社の「手順書」にも同様の欠陥があるのではないか。標記の事項を要望する。

## 二、原子力地域防災について

### 原発立地隣接府県との安全協定を締結すること

福井県に隣接する京都府や滋賀県、同府県内の自治体から立地県並みの安全協定の締結が求められている。これらの自治体と安全協定を締結されたい。

## 三、匿名寄付問題について

朝日新聞や「しんぶん赤旗」は、貴社を含む電力事業者が匿名で福井県や原発立地自治体に巨額の寄付を行っていることを報じた。寄付の実態を公表するとともに原発推進のための匿名寄付はやめること。

以上